立花生徒会新聞　Ｔｒｕｓｔ通信　平成27年2月9日（月）尼崎市立立花中学校生徒会執行部発行　第2号　通刊48号

立花生徒会新聞 Trust通信

第2号　平成27年2月9日　月曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

進路について

三学期が始まって、約一ヶ月が過ぎました。皆さん、勉強の方は順調ですか。三年生の皆さんは受験に向けてのラストスパートということで、一生懸命に取り組まれていることでしょう。今は風邪が流行っていますが、ウィルスなどに負けないよう頑張って下さい。

一、二年生の皆さんはどうですか。受験についてはあまり気にしていなくて「受験なんてまだまだ先だし、大丈夫だろう。」なんて考えている人も少なくないはずです。しかし、その考えは改めた方がいいです。特に二年生の皆さん。私達にはあと、一年しか残されていません。それに、四月になると引退が迫っているため、より部活動に力が入ります。そうなると、家庭での学習もおろそかになり、毎日の授業についていくので精一杯、となる可能性があります。入試制度が変わった今、そんな勉強の仕方では他校の生徒に負けてしまいます。それどころか、行きたい高校を志望することすら出来なくなってしまうかもしれません。そうならないために私達に必要なのは日々の努力です。特に注目していただきたいのは実技教科です。勿論、大切なのは五教科も実技教科も同じですが、実技教科の場合は当日テストがない分内申点が重要となってくるので、更に努力が必要なのです。しかし、「実技が出来ないと内申なんて取れないんじゃないか。」と思う人も少なからず居るはずです。確かに、実技教科というのは実技の点数が高いですが、評価されるのはそこだけではありません。テストの点数や意欲・関心なども全て評価してもらえるのです。つまり日頃、授業を真剣に取り組んでいたら、実技で落とした点数も補うことができるのです。ですから、テスト以外は関係ないと思わず、日々の授業を一生懸命に取り組んでいきましょう。

最後になりますが、一、二年生の皆さん。進路というのは誰もがぶつかる人生の分岐点です。どう進むかは自分で決めなければいけません。ですから将来、合格した学校で「ここを選んで良かった！」と思えるような道に進めるよう頑張って下さい。

中学校説明会

もうすぐ、中学校説明会があります。中学校説明会というのは、来年入ってくる新一年生に向けて行います。そのような中で立花中学校のルールや、授業の様子を通して学校生活を知ってもらい不安を少しでも和らげてもらおうと思っています。そして、今年は新一年生になる小学六年生が中学校に来てクラブ体験をします。クラブ体験は、今年初めて行うことなので不安なことがたくさんあると思いますが新一年生が入学する前にその部活が普段どんなことをしているのかを知ることによって、より中学校について知ってもらうことが出来ると思います。このことを、一、二年生は頭に入れて部活に入ってもらえるように各クラブ頑張って下さい。一年生というのはまだ何もわからない状態でドキドキしながら先輩がしている事を見習いながら毎日を過ごしています。ということは、私たちがお手本になり今までは引っ張られていた側から今度は引っ張っていく側になるということです。

二年生は四月になると、最高学年になります。立花中学校の顔として校内では一、二年生の手本となるような行動をし、校外でもこのような意識を持って行動しなければなりません。部活では引退までの残りわずかの期間を悔しいという思いが残らないように頑張りましょう。一年生は初めての後輩ができます。先輩になるというのは先輩に成ったからといって威張るのではなく自分たちが先輩方から受けた優しさや、礼儀など一年生に教える立場になるということです。先輩についていったときとは違い、自分で考えて動いていく。そして失敗しても自分の力で解決しなければなりません。

学年があがるということは、ただ先輩や最高学年になるのではなく学習面では勉強が難しくなり、高校に進学するためには入試もあります。自分のために一生懸命がんばる事が一年生にもお手本になります。そして、三年生に気持ちよく卒業してもらうために今から気を引き締めて勉強や部活をがんばっていきましょう。

Trustの意味
「信頼」
お互いを信頼し助け合う

防災訓練

先日、一月十七日に防災訓練がありました。では何故、この日に防災訓練を行うのでしょうか。それはこの日に阪神淡路大震災が起こったからです。この阪神淡路大震災をきっかけに、この日は防災の日となりました。二十年前に起こった阪神淡路大震災では多くの人が命を失いました。その人達の事を思い、忘れず、ただの過去にしない事。それがこの防災の日の目的なのです。今の私達には、災害を無くす事は出来ません。しかし、その災害の被害を少なくする事は出来ます。そのために私達がする事が防災訓練なのです。

ところで、皆さんはこの**おはしも**という言葉を知っていますか。ご存じの方も多いと思いますが、これは「おさない」、「はしらない」、「しゃべらない」、「もどらない」を意味しています。これは非常に大切な事で、防災訓練の際にも意識してもらいたい所です。皆さんは「訓練の時くらい良いじゃないか。どうせ本番じゃないし。」と思っていませんか。それは違います。訓練だからこそ意識するのです。例えば、近年起こると予測されている南海トラフ地震。もし、これが今起きたなら皆さんは上手く対処できるでしょうか。慌てずに先生の指示を聞き、速やかに避難出来るでしょうか。それは、はっきり言って出来ないと思います。なぜなら、皆さんはまだ大きな災害を体験していないからです。確かに、阪神淡路大震災や東日本大震災の資料や映像を見た事はあると思います。しかし、見るのと起こるのとでは全く意味が違います。更に、南海トラフ地震ではそれ以上の災害が起きるのではないかという予測もされています。こんな時に、いきなり「おはしも」の通りに行動するなんて難しいですよね。つまり、私達自身の身を守るためにも、日頃の訓練は大切になってくるのです。

私達が、防災のために出来る事はたくさんあります。日頃から地域の防災訓練に積極的に参加する、家族で災害時どこに避難するかなどを話合ってみる、防災かばんを用意するなど、誰にでも簡単に出来ることです。なので、一度やってみてはどうでしょうか。

校外学習

一月二十二日、一年生はわくわくオーケストラに行ってきました。オーケストラの様々な楽器の奏でる音色はとてもきれいなものでした。そして、二年生は二月十日に京都に校外学習に行きます。

校外学習に一年生はこれまでに三回、二年生は一年生の時にも行っています。一年生は今回のわくわくオーケストラで集団行動がいかに大切かということを学びました。私は、集団行動とは、生活の中でお互いが助け合ったり思いやったりしていく上でとても大切なものだと思っています。学校やクラスの中では、一人一人に役割があります。その役割を果たすときに、先生方に言われて行動するのではなく、自分自身で考えて行動することが大切になってくると思います。

一年生は今回の校外学習で、けじめをつけることが課題となりました。そして、三月にも校外学習を控えています。その時には今回見つかった課題を一人一人がしっかりと考えた上で行動できるようにし、一年生全員が楽しいと思える校外学習をつくりましょう。二年生の皆さんは一年生の時の反省を踏まえた上で、班行動でさらにレベルアップをした校外学習にしていってください。三年生の皆さんは中学校三年間の中で学んだことがたくさんあると思います。その学んだことを残りの学校生活や自分の進路の中で生かしていけるようにしましょう。

一年生は四月から二年生となり、普段の学校生活やクラブ活動などで、先輩として生活していきます。その時には、今よりも集団行動をしっかりとできるようになった上で、さらに成長した立派な態度で生活していけるようにしましょう。

二、三年生の皆さんもこれから高校に進学したり、最高学年になります。その中でも集団行動が大切になってくると思います。ですから、これからも集団行動をしっかりとできるように心がけていきましょう。

編集後記

先月の三十日に、実力テストがありました。皆さん、手応えの方はいかがでしたか。このテストでわからなかったところがあれば、もう一度復習をするなど家庭での学習をするように心がけましょう。ちなみに今月にはノーチャイム着席週間があります。０人を目指して、クラスで呼び掛けをするなど協力して取り組みましょう。（勝本・田中・辻本・大木・井上）